

Thank You !

エン先生

野田小学校で担任と一緒に外国語・外国語活動を教えてくださったEATのエン先生が帰国されることになりました。英語の楽しさを教えてくださいました。ありがとうございました。

Nice to meet you!

ウィンター先生

9月からは、加津佐中学校のALTであるウィンター先生が教えてくださいます。1回目の自己紹介を聞いた後に楽しく活動していました。これからよろしくお願いします。Let's enjoy leaning !

「あいつとぼく」を読んでもう一度読んでみました。子どもたちの反応の良さに喜ばれていました。読書の秋、子供たちが、自分の好きな本や心に残る大切な本に出会えることを楽しみにしています。



読書の秋「ブックトーク」

加津佐図書館の氏原さんが、九月十七日の昼休みに、四年生から六年生の子どもたちを対象に本の読み語りとブックトークをしてくださいました。ブックトークのテーマは『友達』でした。ブックトークで紹介された三冊の本の中から、

南風とともに

つながりと成長をとおして

だれもが幸せを感じる学校づくり

校長 大平 啓二

令和七年度野田小学校だより第十五号

シリーズ 統合・閉校に向けて②

八月二十八日に開かれた第二回で加津佐地区統合準備委員会が開催されました。会の中で確認されたことは以下のとおりです。

◇教育課程部会

(1) 統合後も継続する行事等について

① 普賢岳登山は実施する。(方法は検討)

② 野田浜海岸清掃・砂の造形は時期・学年を検討して実施する。

(2) PTA同士の交流について

○まずは、PTA本部役員同士で情報交換会を実施する。

◇環境整備部

(1) スクールバスに関連して

○停留所の設置場所については、南島原市と加津佐小のスクールバスに関する規約や取り決めをもとに二箇所に設定する予定である。

⑦ 野田小学校 ⑧ 東串公民館

今後、全家庭を対象に、スクールバス利用に関するアンケート、また、閉校後の校舎の活用についてもアンケートを実施しますのでご協力をお願いします。

【速報】

野田小学校閉校記念式典

令和八年二月一日(日)

おやじの会除草作業
ありがとうございました。

八月三十日、二学期が始まる前に、おやじの会の皆さんが運動場とその周辺の除草作業をしてくださいました。すっかりきれいになり、二学期最初の昼休みでは、きれいに整った運動場に子供たちの声が響いています。ありがとうございました。



二学期もアップデート

始業式に代表児童の二人が二学期のめあてを発表しました。内容を要約して紹介します。

四年 福田 麟太郎さん

・一学期のバージョンアップは、うこつけいのお世話。毎日のえさ、水やりや掃除で、責任感と愛着がでてきた。

・二学期のバージョンアップは、あいさつと、持久走大会を頑張ること。
やればできるー!

六年 門畑 あかねさん

・下級生と仲良くしたい。
・普賢岳登山で、頂上から見る景色が楽しみ。



裏面に続きます。

【これからよろしくね～はじめの一步～】 加津佐小とのオンライン交流

九月十七日、十八日の朝の時間を活用して、統合する野田小学校と加津佐小学校の両校でオンライン交流に取り組みました。学年ごとに、それぞれの教室をオンラインでつないで、自己紹介を行いました。名前と好きなことなどを緊張して話す子供や、画面越しに見える新しい友達に笑顔を見せる子供など、ドキドキワクワクの時間となりました。

これから、交流の機会が増えてきます。特に、十月二十八日は、野田小学校の子供たちが、加津佐小学校に出向いて、同じ教室で勉強したり、同じ内容の活動に取り組んだり、給食を一緒に食べたりします。当日、保護者の皆さんの参観も可能です。



シリーズ 統合・閉校に向けて③

九月十六日に第一回の野田小学校閉校準備協議会が開催されました。本会議は、加津佐地区統合準備委員会における協議対象外の内容について協議をする会です。主に閉校に係ることに特化した協議を進めていきます。学校管理職、PTA役員、地域の方々十一名に、教育委員会の二名の担当者で構成されています。協議委員の皆様よろしくお願いいたします。

◇第一回の会議の内容

- (1) 閉校までの主なスケジュールの確認
- (2) 閉校記念式典開催日の決定

【令和八年二月一日（日）】

- (3) 閉校記念碑の説明（市教育委員会）
- (4) 横断幕・のぼり旗の設置

・ 野田小の全家庭から、横断幕に載せるメッセージを募り、それらを参考にして第二回の協議会にて決定する。

- (5) 記念品・式典当日の運営について
- ・ 第二回の協議会にて検討する。

【普賢岳災害を語り継ぐ】

九月十二日に、普賢岳災害について、校長の私が全校集会で話をしました。私の母校は、焼失した旧大野木場小学校です。災害時は大学生で、母校や故郷が火砕流に飲み込まれる様子をテレビ越しに呆然と見ていました。

私が、野田小の子供たちに、普賢岳災害について語る価値とは…

と自問自答したときに、ふと考えたのが心の中にある母校についてでした。校舎が焼失し、形は変わっても、私の心の中には、友達と笑い合った教室、馬乗りして遊んだ校庭のいちよの木の浮かんできます。

集会では、焼失した旧大野木場小学校の校舎の動画を見せた後、心の中にある当時の風景や思い出について話し、以下の三つのメッセージを伝えました。

- ① あたりまえの日々の大切さ
- ② 心の中の思い出は永遠であること
- ③ 自分が毎日を過ごした心の中にある学校が母校であること

残り数か月、閉校しても、野田小学校が子供たちにとつての母校として、人生の支えになるような時間を過ごせるように教育活動を進めてまいります。

